全日本１部の名古屋産業大学ウエイトリフティング部男子　　　　　　　　　　　　　西日本学生選手権で2階級制覇！

名古屋産業大学ウエイトリフティング部男子チームは、2021年7月2日（金）～4日（日）に「はびきのコロセウム（大阪府・羽曳野市立総合スポーツセンター）」で行われた「第60回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会」で、12階級のうち67kg級と109kg級の2階級で優勝、81kg級で準優勝、73kg級及び＋109kg級で3位入賞を果たすなど優秀な成績を収めました。さらに男子団体Ⅰ部では6階級に出場してトータル154得点を挙げ、見事準優勝に輝いた。

優勝したのは、67kg級の井田龍吾選手（4年）と109kg級の三宅敬之選手（3年）で、井田選手は2位と10キロ差をつけてトータル233キロを記録し、三宅選手はトータル312キロの大会新記録を樹立した。また、準優勝に輝いた81kg級の西川輝選手（4年）はトータル250キロを記録し、3位入賞を果たした73kg級の兵庫正勝選手（3年）はトータル247キロ、＋109kg級の川畑庄選手（3年）はトータル296キロを記録し、堂々たる成績を残した。

今大会で優秀な成績を収めた5名の選手には、高木弘恵学長より「スポーツ・文化功労者」表彰を受けることが決まっている。

名産大ボウリング部女子　東日本ボウリング選手権で３位の活躍！

　名古屋産業大学ボウリング部女子チームは、2021年6月25日（金）～27日（日）に

「百万石リゾートレーン」（石川県小松市）で行われました「第57回東日本ボウリング選手権大会」（公益財団法人全日本ボウリング協会主催）で、学生連合会員の選出枠で出場した米山侑花選手（1年）と岩元美咲希選手（1年）は、見事3位に輝きました。

　試合は2人チーム戦の種目で、それぞれ1人6ゲームの競技を競い、米山選手と岩元選手は合計2,377得点をマークし、ベスト3入りを果たした。

東日本ボウリング選手権大会は、東日本地区の加盟25団体がトップを決める大会

JBC ニュース 第590号（2021年7月１０日発行・公益財団法人全日本ボウリング協会）

